

科目名	ヘルスプロモーション展開論 (Health Promotion)			科目コード	304
開講学科	看護学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次前期・後期	関連DP	看②③
担当教員	入野 了士、野村 美千江、奥田 美恵、窪田 志徳				
授業概要	人々の生活と健康を継続的にアセスメントし、地域特性や顕在的・潜在的な健康課題を見出す過程、健康課題に対する支援を計画・立案する過程、活動を展開し評価する過程について、砥部町のヘルスプロモーション活動等を基に教授する。また、事業の企画立案の考え方が理解できることを目指す。				
授業目標	1. 個人や地域の健康課題に対する支援を計画・立案する過程を説明することができる。 2. 保健福祉活動を展開し評価する過程(各事業のPDCA)を説明できる。 3. 担当した地区のニーズに応じた事業を企画立案評価の過程とともに理解できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者	
1	ヘルスプロモーションとは	ヘルスプロモーションの考え方 自治体におけるヘルスプロモーション活動	入野了士 野村美千江 奥田美恵 窪田志徳	
2～3	砥部町のヘルスプロモーション活動の実際 —支援計画の立案・実施・評価の過程(PDCA)	①砥部町保健センターを拠点としたヘルスプロモーション自治体として住民の健康を守る施策と体制 ②町内地区の健康課題の明確化と保健活動計画立案 住民の声を活かした地域アセスメントと事業立案 ③砥部町高齢者の生活実態・健康課題と施策 地区の保健活動におけるPDCA ④砥部町社会福祉協議会を拠点とした住民力活用 地域の社会資源を有効に活用した地域福祉活動		
4	地域アセスメントにおける二次資料の活用	地域アセスメントの目的と方法、二次資料を活用した量的・質的データの統合から計画へ ○既存資料・県や町のHP・保健統計・各種調査・国保医療費・健診結果等をまとめた実習報告書を精読し、町全体の診断結果から地区へ介入するイメージをもつ。		
5～6	地区のアセスメント(演習)	○担当地区のデータの統合と資料化 ○地区踏査の準備 ○健康課題の分析		
7～8	健康と生活に関するデータの収集と判断 地区アセスメントの充実	○地区データベースに必要な質的情報の収集 ○既存資料からのデータと新たに把握したデータの整理 ○量的データと質的データの関係性とその考察		
9～10	社会システムへの働きかけ	○出前型健康教育を主とした受持ち地区への働きかけ ○働きかけ直後の評価		
11～15	公衆衛生看護活動の評価、改善	実習地区を対象とした公衆衛生看護活動のまとめ ○地区診断・計画・健康教育の結果評価と改善 ○地区活動の総括と今後の活動への提案		入野了士
成績評価方法	個人学習の成果評価60%、グループ学習の成果評価40%			
教科書	佐伯和子編「公衆衛生看護技術(公衆衛生看護学テキスト2)」(医歯薬出版) 厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標2018/2019」			
参考図書等	○宮内清子「保健師の基軸をつくる公衆衛生看護キーワード・ナビ」(インターメディカル) ○島内憲夫翻訳「ヘルスプロモーション—WHO:オタワ憲章(21世紀の健康戦略)」(垣内出版) ○L.W.Green著・神馬征峰翻訳「実践ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価」(医学書院)			
授業時間外の学習について	講義時間内に予習および復習に関する項目について提示 第10回終了時に、後期分の事前学習課題を提示			
関連科目	301 公衆衛生看護概論→303 公衆衛生看護方法論→本科目、306 公衆衛生看護学実習→305 公衆衛生看護特論			
備考	1～10回は前期、11～15回は後期に開講			